

定例公安委員会の開催状況について

令和4年2月3日（木）に、第4回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和4年度当初予算の概要及び令和3年度2月補正予算の概要について

令和4年度当初予算の概要及び令和3年度2月補正予算の概要について報告があった。

委員のコメント

- 要求していた主要事業がほとんど容認されたことで、今後の成果が大いに期待できる。
- 概ね要望どおりなので、予算執行も適時適切に願いたい。
- 新規事業が認められたことを評価する。

2 警察署等の窓口業務における受付時間の見直しについて

令和4年3月1日から当面の間試行される、警察署等の窓口業務における受付時間の見直しについて報告があった。

委員のコメント

- 民間では、銀行などでも同じように窓口業務の時間を短縮している。ワークライフバランスの推進、時間外勤務縮減によるコスト削減といった、時代の流れに即した施策である。実施に当たって、変更点のPRが必要である。例外的なケースが出た場合は、特に試行期間中は柔軟な対応を心掛けてほしい。
- 受付時間が勤務時間と同じだった点を見直したことで、試行期間を設けていることが良かった。実際にやってみて何か不都合な点がないか、いろいろな人の声を聞いて、それを反映させてほしい。
- 利用者が混乱しないように、十分配慮願いたい。マスコミなどを活用して、広く県民に周知してほしい。県民の利便性向上をPRしながら、職員のワークライフバランスの推進にもつながるということを説明し、理解を求めたら良いのではないか。

3 令和3年中の少年補導及び犯罪被害の概況について

令和3年中の少年補導及び犯罪被害少年等の概況について報告があった。

委員のコメント

- 少年非行を含めた刑法犯認知件数が、県内と同様、全国的にも過去最少レベルで減少している。子供社会も大人社会と同様に、良い方向に向かっているのではないかと思う。今後は、大麻、SNS関連の問題といった、時代の流れを映した犯罪の多発が危惧されるので、適切な対策をお願いしたい。

- 大分前から、非行少年は、グループ活動ではなく、単独のケースが多くなっている印象がある。問題がインターネット関連やSNS関連に移行している。今後も、ツイッターなどのSNSを活用しながら、継続して青少年に注意喚起してほしい。子供たちに、何が正しくて何が正しくないのか、今自分がやっていることが周囲にどういう影響を及ぼすのかなど、想像力、考える力を身に付けてもらうために、コロナ禍であっても可能な範囲で非行防止教室や薬物乱用防止教室を実施してほしい。
- 少年非行が、減少傾向にあることは理解した。時代の流れとともに、子供たちがSNSを介して親や教師が知らないところで性犯罪などの被害に遭うことが多くなっている。こうした現状を踏まえ、引き続き、厳しい監視の目を向けてほしい。

4 令和3年中における交通安全教育の実施状況等について

令和3年中における交通安全教育の実施状況等及び令和4年の取組について報告があった。

委員のコメント

- コロナ禍以前と比較して、開催数が減少しているのは、やむを得ないと考える。交通安全教育機器の中で、動画KYTは、運転者が自分の現在の危険予測能力を知る上で有効な機器だと思う。今後も、交通安全教室の中で、「交通安全ありがとう運動」には必ず触れてほしい。
- 交通安全教育は、小さい子供のうちから実施することが大事だと思う。横断歩道を渡ろうとするときに、自然に皆が止まってくれて、皆がそれにありがとうと応える、そんな全体的な安全のモラル育成につながっていくものと思う。
昨年の交通死亡事故発生状況を見ると、前方不注意が原因のものが多イイメージがある。運転手一人一人が、それぞれに迫る危険を予知して、何が危ないのか早期に予知できるよう、今後もあらゆる機会を捉えて教育してほしい。
- コロナ禍に、これだけの啓発活動を実施できたことを評価する。非接触型の啓発活動は、時代の流れに即した活動として成果が期待できる。今後も継続して実施してほしい。